

平塚市史料展「平塚の近世絵画」

期 間：平成11年2月6日〔土〕～14日〔日〕

会 場：博物館特別展示室



人はいつも心を形に表してきた

草摺曳絵馬 熊野神社（土屋）所蔵

平塚市教育委員会では、平成4年度から平成8年度の5年間で「平塚市中世近世絵画調査」を実施しました。この調査によって、市内の寺社に伝わる多くの絵画の所在が明らかとなり、その成果の一部を平成9年1月に平塚市史料展「平塚の中世近世絵画」として公表しました。今回は、その第二弾として博物館特別展示室で公開いたします。ただし、今回の展示には中世絵画が含まれていないので、タイトルは「平塚の近世絵画」としました。

今回の史料展では、「くらしの風景」「仏への信心」「神への祈り」という3項目に分けて展示を構成します。「くらしの風景」では、中原御宮記（市指定重要文化財）と天橋立図屏風（いずれも博物館所蔵）を、「仏への信心」では各寺院が所蔵する仏画等を、「神への祈り」では、各神社に伝わる絵馬を展示いたします。

このように作品を見てくると、古くから人は様々な理由から絵を描いてきたことがわかります。これらの絵画は、年を経ることによって、単に美術的な要素だけではなく、歴史的な価値が加わると共に、過去の証言者にもなってくるのです。今回の史料展を通じて、私たちの郷土とその歴史にまで思いを馳せていただければ幸いです。

主 催：平塚市教育委員会・平塚市史料展実行委員会

問い合わせ先：社会教育課文化財保護担当 電話0463(35)8124